

今後の活動についての提案

これまでの経過

1. 2020 年 8 月、「市民提案書」の実現とは相容れない「改修等基本方針」狛江市から決定事項として発表された。
2. この「基本方針」に対し、市民の会は、再考を求める意見書を提出した。
また、再考の方向を提案する質問状を提出したが、市は「再考の意思なし」と回答した。
3. これらの一連の対応から、従来の「『市民の会』が提案し、行政との協働でよりよい市民センター増改築を実現する」という活動が不可能になったと判断せざるを得ない。
4. 「基本方針」の再考を求める取り組みには、従来の「提案型の市民運動・行政と共に考える」条件が失われたために、新しい活動の方向性が必要となる。

世話人会で検討された活動方針

- ・ 「質問状の回答」等をもとに新たな意見書・質問状を提出する。
- ・ 「ちょっと待って図書館移転」連絡会に加わり「基本方針の保留・再検討」を求める署名活動に取り組む。
- ・ 狛江市から出された「基本方針」は認められない（異議はある）が、「市民提案書」実現の立場でワークショップ等に参加し積極的に発言していく。

世話人会において今後の方針についての意見が分かれた。

- ・ 署名活動への参加については賛成・反対両方の意見が出されたが、これまで市民の会の運営は、基本的に多数決で決定するという手法をとらず、「市民提案書の実現」を目的として、一致した事項について実行してきた。
- ・ しかし、新しい活動への移行が求められる現在の局面において、このままでは、「やりたくない活動が決められる」および「やりたい活動が制約される」こととなり、さまざまに不自由が生じることになりかねない。より良い市民センターを実現するために力を尽くしたいという思いは共通でも、気持ちよく取り組めない事態が生じることとなった。

世話人会での方針案

- ・ よって、発展的解消として、この活動の区切りのタイミングで「市民の会」を解散することを今総会に提案する。
- ・ ただし、総会当日をもって解散ということではなく、各取り組みに対して「市民の会」会員等がこれまでの活動の蓄積を新しい形態の取り組みに生かせるよう、継承のための対応を行うこと、また緩やかな連携等についても模索することも合わせて総会に提案する。その役割を担う事務局的な体制は必要である。